

101-120

問題文

I型アレルギーに関する記述のうち、正しいのはどれか。2つ選べ。

1. I型アレルギーの原因となるIgEは、主としてヘルパーT細胞により産生される。
2. I型アレルギーでは、ヒスタミンがB細胞内の顆粒から放出される。
3. アレルゲンに対して産生されたIgEは、肥満細胞上の特異的受容体と結合する。
4. ウルシによる接触性皮膚炎は、I型アレルギーに分類される。
5. 花粉、ダニ、ハウスダストなどが抗原となってIgEが産生され、感作された状態では、同じ抗原が再度侵入した時にI型アレルギーの症状があらわれる。

解答

3, 5

解説

選択肢 1 ですが

IgE は、主として B 細胞から分化した形質細胞により産生されます。ヘルパー T 細胞では、ありません。よって、選択肢 1 は誤りです。

選択肢 2 ですが

ヒスタミンを放出する顆粒というのはマスト細胞（肥満細胞）内の顆粒です。B 細胞内の顆粒では、ありません。よって、選択肢 2 は誤りです。

選択肢 3 は、正しい選択肢です。

選択肢 4 ですが

ウルシは、接触後 2 日後ぐらいして、かぶれてきます。遅延型アレルギー（IV型アレルギー）の一種です。I型アレルギー（即時型アレルギー）ではありません。よって、選択肢 4 は誤りです。

選択肢 5 は、正しい選択肢です。

以上より、正解は 3,5 です。